

(様式 1-3)

田野畑村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成30年10月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	20	事業名	平井賀漁港（平井賀地区）施設機能強化事業	事業番号	C-6-3
交付団体	田野畑村		事業実施主体（直接/間接）	田野畑村（間接）	
総交付対象事業費	86,400（千円）		全体事業費	86,400（千円）	
事業概要					
<p>平井賀漁港（平井賀地区）は、波浪時に中型漁船が係留するなど地域沿岸漁業の拠点漁港として重要な役割を担ってきたところであるが、東日本大震災により40cmほど地盤沈下したことから、漁家や観光客など利用者の安全性を確保するため、漁港施設用地1,827㎡のかさ上げ、船置場1,140㎡の整備、北防波堤腹付30mの整備を行う。</p> <p>なお、当該事業は、田野畑村災害復興計画・復興基本計画P7の3土地利用の方向性、P26のI水産業の再建、P29のII観光業の再建に記載のある復興に向けての方針に基づき行うものである。</p> <p>（事業間流用による経費の変更）（H25.3.29）</p> <p>野積場嵩上げ工事面積が実施により計画よりも73㎡減工となったことなどから、工事費が7,628千円（国費：5,721千円）減額となった。この工事費のうち1,180千円（国費：884千円）を不足が生じているC-6-2平井賀漁港（羅賀地区）施設機能強化事業へ流用し交付金の有効利用に努める。これにより、本事業の交付対象事業費は86,400千円（国費：64,800千円）から85,220千円（国費：63,916千円）に減額となる。</p> <p>平井賀漁港地区の防潮堤災害復旧工事との調整で、船置場整備の一部が平成31年度に完了する。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p><平成23～24年度></p> <ul style="list-style-type: none">野積場嵩上げ工事（変更前）1,900㎡⇒（変更後）1,827㎡（10cm～33cmの嵩上げ）北防波堤腹付工事 L=30m <p><平成24年度></p> <ul style="list-style-type: none">測量詳細設計（船揚場、船置場）一式南野積場嵩上げ工事（変更前）100㎡⇒（変更後）307㎡（平均13cmの嵩上げ） <p><平成26～27年度> <平成31年度></p> <ul style="list-style-type: none">船置場整備工事 A=687㎡（一部分）船置場整備工事 A=453㎡（残分）					
東日本大震災の被害との関係					
<p>平井賀漁港（平井賀地区）は、高さ約26mの津波の到来により、防波堤はもとより、係留してあった漁船、漁業用の作業場や倉庫などに壊滅的な被害を受けた。本村は、日本一の海岸美と評価されている北山崎に代表される自然景観等を活用し、水産業と観光業の連携による「海業」により地域の活性化を目指していることから、沈下被害を受けた漁港施設用地（野積場）のかさ上げにより冠水被害を防止するとともに、地盤沈下により消失した天然の船揚場と船置場を新たに整備し、漁家の安全と作業環境の向上を図る。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
平井賀漁港（平井賀地区）災害復旧事業					
-3m岸壁かさ上げ、北防波堤腹付け・かさ上げ、K護岸かさ上げ、臨港道路2かさ上げ、南物揚場かさ上げ・腹付け、東防波堤かさ上げ、臨港道路1かさ上げ					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式 1-3)

田野畑村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成30年10月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	63	事業名	埋蔵文化財収蔵整理棚等整備事業	事業番号	◆A-4-1-1
交付団体	田野畑村		事業実施主体 (直接/間接)	田野畑村 (直接)	
総交付対象事業費	3,297 (千円)		全体事業費	3,297 (千円)	
事業概要					
<p>津波により被災した個人住宅、漁集集団移転事業等の復興関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物等の整理・収納・活用を適切に行うための整理棚の整備を実施する。</p> <p>整備施設は、田野畑中学校旧寄宿舎の食堂 340.992 m²の一部 154.8 m²を活用し、収納コンテナ箱は (公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターのものが移譲される予定である。</p> <p>・整理棚整備規模 : 遺物収蔵コンテナ 215 箱、11 調査分の A0 版等大型図面、ネガ・写真等。</p> <p>・遺物収納棚 (幅 180cm×3 段) : 24 連 1 連あたり遺物収蔵コンテナ 9 箱 (1 箱 : 440×600×150 mm) 収蔵可能。 215 箱÷9=23.88≒24 連</p> <p>・A0 版等大型図面収蔵用棚 (幅 180cm×3 段) : 1 連</p> <p>・図面・材・写真収納書架 (幅 90 cm×6 段) : 11 連 (1 調査あたり 1 連使用予定)</p>					
当面の事業概要					
＜平成 31 年度＞ 収蔵施設内設備整備 ①遺物等整理棚の設置					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災で被災した住民の住宅再建、復興道路の開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査がほぼ終了したが、村には現在その成果を収納する施設がなく、(公財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに保管をお願いしている状況である。これまでの村独自の学術調査や開発行為による発掘調査の成果は、まとめて田野畑村民俗資料館に展示しているが、復興事業による発掘調査の成果を村民共有の財産として活用するための整理・保管設備が必要となっている。</p> <p>※区域の被害状況も記載して下さい。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
なし。					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号	A-4-1				
事業名	埋蔵文化財発掘調査事業				
交付団体	田野畑村				
基幹事業との関連性					
埋蔵文化財発掘調査による出土遺物は国民共有の財産として永続的に整理・保管・活用されるものであり、そのための活用に向けた効果的な収納方法が求められている。					